

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 856,420 千円  
 決算額 847,687 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
56,565	55,283		6,522	729,317

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	38,355	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 389千円(平等割10% 加入事務数割90%) 運営経費 33,155千円(実績割100%) 建設経費 4,811千円(平等割10% 人口割90%)	頁 199
2 . 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	433,410	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,086千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 177,608千円(実績割100%) 建設経費 134,632千円(平等割10%人口割90%) 公債費 119,084千円(元利補給金)	199
3 . 生活排水対策一般経費	85	生活排水対策推進を図るため、全国生活排水対策重点地域指定市町村連絡協議会で国へ予算を要望したり、生活排水対策の啓発活動、情報交換等を行った。	199
4 . 生活排水対策用品配布事業	1,071	市民が生活排水対策に取り組む為に、三角コーナー・ストレーナー等を希望者へ有償配布した。 平成18年度販売個数 117個	199
5 . 狂犬病予防事業	1,736	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 672頭 狂犬病予防注射受付件数 5,564頭	199
6 . 防疫事業一般経費	4,479	煙霧消毒機を希望自治会へ貸出す等により、市民の生活衛生を守った。	199
7 . 環境審議会経費	113	伊勢市環境基本計画の進捗状況等について審議するとともに、新たな課題や社会情勢等の動向を考慮の上で、環境保全について提言いただいた。	199
8 . 生活排水対策啓発事業	1,300	各家庭における生活排水対策の啓発活動の推進により、市民の生活排水対策意識の高揚と公共用水域の水質保全を図った。	199
9 . 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	175,822	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及を図った。 ・公共下水道認可区域外 425基 165,849千円 ・公共下水道認可区域内 77基 9,973千円	199
10 . 合併処理浄化槽普及推進一般経費	171	三重県合併処理浄化槽普及促進協議会において、国・県に対する陳情、請願、合併処理浄化槽の普及啓発や情報交換などを行った。	199

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
11. 放置自動車対策経費	181	伊勢市放置自動車の発生の防止及び適正処理に関する条例に基づき、市道、公園等の放置自動車を適正に処分した。 平成18年度処分台数 9台	199
12. 犬猫不妊手術費等補助金	1,660	犬猫の適正飼育を図るため、市の要綱に基づき不妊手術費の一部助成を行った。 平成18年度補助件数 犬162匹 猫345匹	199
13. 環境リサイクルフェア等開催事業	701	環境に関する市民の理解と協力を得るため、平成18年10月8日(日)に朝熊町県営サンアリーナで伊勢市ごみ問題市民会議、伊勢市生活排水対策活動推進協議会と市(環境政策課、資源循環課)の協働で環境リサイクルフェアを開催した。	199
14. 公衆浴場組合補助金	816	市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合に水道料金の一部助成を実施した。 平成18年度公衆浴場件数 10件	199
15. 犬のしつけ教室開催事業	54	犬の飼育者に対ししつけ教室を行うことにより、市民の環境衛生を保持した。	199
16. 環境管理システム推進経費	578	市の事業活動に環境管理システムを構築、実践し環境改善を図るとともに、率先し模範を示すことで市民、地元事業者等の環境意識向上を図った。	201
17. 市民版ISO普及事業	141	環境管理システムの考え方を家庭でも取り入れることにより、市民による自主的な環境保全活動の推進を図った。	201
18. エコタウン推進事業	1,500	環境にやさしい風力エネルギー普及のため、公共施設へ小型風力発電システムを設置、民間企業と共同研究を実施した。	201

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 657,753 千円  
決算額 653,250 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			9,713	643,537

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一次救急医療事業	3,859	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。 また、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)を市の主要18施設に設置するとともに、市民が参加するイベントなど、一時的に必要なときに活用できるよう貸出用も配備した。	201

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 病院群輪番制病院 運営費補助金	30,973	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院（市立伊勢総合病院、山田赤十字病院）が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成18年度は30,241人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	201
3. 健康文化都市推進 事業	2,526	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康文化都市宣言及び健康づくり指針を策定した。また、健康づくり指針に基づき健康文化都市推進事業シンボルマークの決定、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとしてウォーキング大会等を実施した。	201

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 3 . 予防費

(単位 千円)

予算現額 143,264 千円  
決算額 135,706 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,701			132,005

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	135,706	全ての定期予防接種を県内の登録医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。	201

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 4 . 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 515,175 千円  
決算額 502,843 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
86,444	91,505		2,223	322,671

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康相談事業	1,036	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談、たばこ相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ281回、2,158人の相談を行った。	203
2. 基本健康診査事業	300,561	40歳以上の市民を対象に市内実施医療機関において、基本健康診査・骨粗しょう症検査・肝炎ウイルス検診の他、伊勢市独自で実施している腹部エコー検査を実施し、心臓病、脳卒中などの生活習慣病と高齢者の心身機能の低下を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	203
3. がん検診事業	187,579	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん（悪性新生物）を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	203

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 歯周疾患検診事業	5,182	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳の市民を対象に、市内実施医療機関で歯周疾患の検診を実施した。 1,908人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	203
5. 訪問指導事業	1,224	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族1,066人に対し、生活習慣病の予防や介護予防、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	203
6. 健康づくり教室事業	855	生活習慣病予防を目的に、運動や心の健康づくりの教室を開催した。また、基本健康診査の結果などで生活習慣の改善が必要と認められる市民を対象に、高脂血症、糖尿病、高血圧について、教室を開催した。行動変容を支援する具体的な指導を行い、生活習慣病について正しい知識と理解を深め、疾病予防を図った。 延べ29回、1,180人の参加があった。また、個別に高脂血症、高血圧の健康相談を実施し、継続的に生活習慣行動の改善を図った。(個別健康相談 延べ15回、15人)	203

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 54,591 千円  
決算額 50,874 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
353			356	50,165

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	556	妊婦及びその配偶者に対し、妊娠・分娩・子育てに関する知識の普及、夫の育児参加、親同士の仲間づくりを目的に開催した。夫婦参加の沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験などを実施し、健全な母性育成と子育て支援を図った。231人の参加があった。	203
2. 乳児健康診査事後教室事業	1,587	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。178人の参加があった。	203
3. 幼児歯科保健事業	3,608	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室24回 868人 (中央保健センター12回, 小保保健センター12回) ・3歳児フッ化物塗布24回 646人 (中央保健センター12回, 小保保健センター12回)	203
4. 子育て相談	680	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスをを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域で月2回開催し、延べ2,485人の参加があった。	203

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 妊婦・乳児健康診査事業	27,542	妊娠中に2回(前期、後期)及び乳児期に2回(4ヶ月、10ヶ月)計4回、県下の医療機関に委託して、健康診査を実施した。妊婦は延べ904人、乳児は延べ792人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	203
6. 新生児等訪問指導事業	731	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることにより、それぞれが持っている不安、悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児806人、乳幼児430人、妊産婦880人の訪問を実施した。	203
7. 不妊治療費助成事業	3,726	医師が必要と認めた不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費に要する費用の一部助成(費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで)を行った。 一般不妊治療39件、特定不妊治療17件に助成を行った。	205

(款)4. 衛生費 (項)1. 保健衛生費 (目)6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 23,877 千円  
決算額 23,464 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,574	19,890

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	10,108	生きがい対策事業の一環として、市営大世古墓地の除草清掃を伊勢生きがい対策事業団へ業務委託することにより、高齢者の安定雇用と墓地の維持管理を図った。	205
2. 市営墓地整備事業	6,466	大世古墓地の樹木伐採や大湊墓地のブロック塀の改修工事等を行い、市営墓地の適正な維持管理に努めた。	205
3. 共同墓地整備事業補助金	5,955	共同墓地内の環境衛生の改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 ・平成18年度補助実績 7箇所	205

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	935	市営小俣若山墓地の管理運営を行った。	205

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 7 . 診療所費

(単位 千円)

予算現額 66,045 千円  
 決算額 63,286 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			58,407	4,879

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 医科診療所運営事業	57,463	休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、夜間や休日における診療の不安を軽減し、市民の健康管理を図った。	205
2 . 歯科診療所運営事業	5,823	休日・夜間応急診療所を開設し、休日における診療の不安を軽減し、市民の健康管理を図った。	205

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 8 . 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 5,205 千円  
 決算額 5,159 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,159

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 調査事業	5,131	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、結果を広報等で周知した。	207

御園総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 調査事業	28	公害関係法規集の追録を行い、公害発生時等に適切に対応できるよう備えた。	207

(款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 1 . 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 1,129,731 千円  
 決算額 1,126,074 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,345		25,006	1,099,723

資源循環課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 伊勢広域環境組合 負担金(ごみ)	1,018,894	4市町で構成する伊勢広域環境組合にて、ごみの適正処理を行った。 構成市町村(4市町) 伊勢市、明和町、玉城町、度会町 負担金内訳 共通経費 6,149千円 運営経費 523,546千円 建設経費 197,660千円 公債費 287,844千円 清掃事業所分担金 3,695千円	頁 207
2 . きれいなまちづくり 推進事業	1,145	伊勢市ごみ問題市民会議に、ごみ問題及びごみ減量・資源化対策活動の業務委託を行い、啓発活動を推進した。 (概要) 名称 伊勢市ごみ問題市民会議 構成 委員30名(会長 松本潤子) 参与5名 顧問1名 設立 平成18年5月16日 内容 本部事業 ・伊勢市環境リサイクルフェアの開催 減量、資源化事業 ・ごみ分別、減量の指導、啓発の実施 環境美化事業 ・早朝清掃等の実施	207
3 . 廃棄物集積所設置 補助金	8,770	ごみの散乱防止及び良好な生活環境の確保、並びに美化意識の高揚を図ることを目的にごみ集積所の補助事業を行った。 交付申請自治会数 26自治会 補助金交付基数 60基 補助金交付額 8,770千円 補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	207
4 . 不法投棄防止対策 推進事業	2,032	不法投棄パトロール、警告看板等による不法投棄防止及び不法投棄された廃棄物の撤去、適正処理を行った。また、不法投棄に対して広域的に取り組むため、6市町及び関係5団体で構成する伊勢地域不法投棄防止対策協議会へ参加した。 (協議会概要) 名称 伊勢地域不法投棄防止対策協議会 構成市町村等(6市町及び関係5団体) 6市町 伊勢市、玉城町、南伊勢町 (会員) 度会町、大紀町、明和町 関係5団体 伊勢農林水産商工環境事務所、 松阪農林商工環境事務所、 (参与) 伊勢警察署、松阪警察署、 大台警察署	207

**二見総合支所 生活環境課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 不法投棄防止対策推進事業	559	不法投棄物のパトロール、撤去業務、マップの作成等の業務を(社)伊勢市シルバー人材センターへ委託し、不法投棄の監視及び回収を行った。	207

**小俣総合支所 生活環境課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	1,453	<p>【まちをきれいにする一斉運動】</p> <p>新市合併後も旧小俣町と同様に「まちをきれいにする一斉運動」を2回実施をした。この運動は、午前8時から1時間程度、各自治区を中心にポイ捨てされたゴミを一掃するため、また、地球環境美化の一環として落ちているゴミを拾うことによって、ゴミを捨てない・汚さない心を確認しあう日として実施をしている。</p> <p>(第1回)</p> <p>日 時 平成18年9月10日(日)</p> <p>実施場所 小俣町内一円</p> <p>対 象 伊勢市小俣町内に住む市民</p> <p>参加者 2,324名</p> <p>(第2回)</p> <p>日 時 平成19年3月4日(日)</p> <p>実施場所 小俣町内一円</p> <p>対 象 伊勢市小俣町内に住む市民</p> <p>参加者 2,353名</p> <p>【ポイ捨て・放置自転車防止活動】</p> <p>小俣町内のポイ捨て・放置自転車の防止のため、シルバー人材センターへ業務委託し監視活動を実施した。</p>	207

**御園総合支所 生活環境課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	81	<p>ポイ捨ての禁止やごみの減量化及び資源化に対する住民の意識と地域の連帯感を高め、実践活動を促進するため、各自治会を中心に一斉清掃を実施した。</p> <p>日 時 平成18年5月28日(日)</p> <p>実施場所 御園町内一円</p> <p>対 象 伊勢市御園町内に住む市民</p> <p>参加者 約1,000名</p>	207



(款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 2 . 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 96,549 千円  
 決算額 74,379 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,605		30,821	39,953

資源循環課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 指定袋制度運営事業	30,821	<p>ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみ等の指定ごみ袋制を実施した。</p> <p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進</li> <li>2 . 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止</li> <li>3 . 日常生活からのごみと事業活動から生じるとのごみの区別化</li> </ol> <p>対象ごみ</p> <p>可燃ごみ                      不燃ごみ (小俣町のみ)                      ペットボトル (御園町のみ)</p> <p>指定袋種類 5 種類</p> <p>【可燃ごみ】                      3 種類 (大袋 4 5 ㍓、中袋 3 0 ㍓、小袋 1 5 ㍓)</p> <p>【不燃ごみ】                      1 種類 (中袋 3 0 ㍓)</p> <p>【ペットボトル】                      1 種類 (大袋 4 5 ㍓)</p> <p>材質等</p> <p>【材質】高密度ポリエチレン製、充填剤入 (消石灰系複合物 5 %以上)</p> <p>【色】乳白色半透明</p> <p>販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成 1 9 年 3 月 3 1 日現在、販売店登録数約 4 0 0 店舗)</p> <p>販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格</p> <p>【可燃ごみ】                      大袋 7 0 円、中袋 5 0 円、小袋 3 5 円 (税別)</p> <p>【不燃ごみ】                      中袋 9 0 円 (税別)</p> <p>【ペットボトル】                      大袋 (御園町のみ配布) 無料</p>	頁 209

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. ごみ減量・資源化 推進事業	7,058	<p>ごみ資源化実験事業 ごみの減量及び資源化を図るため、モデル地区（津村団地自治会）に生ごみ処理機を貸与し、地域住民による生ごみ資源化の実証実験を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ投入量 4,584kg</li> <li>・取出し堆肥量 808kg</li> <li>・堆肥化率 17.63%</li> <li>・減量化率 82.38%</li> </ul> <p>埋立廃棄物の減量・資源化プラン実施事業 埋立廃棄物の減量資源化を目的として新たにガラス類・陶磁器類の分別回収を平成19年4月から行うために回収場所の確保、看板・啓発チラシ等を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス類・陶磁器類回収場所 526箇所</li> </ul> <p>公共施設生ごみ処理機設置事業 生ごみの資源化を学校生活の中で行い、ごみの減量・資源化・分別の意識を高めるため生ごみ処理機を御園中学校に設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所 御園中学校</li> <li>・設置金額 2,893,800円</li> <li>・設置概要 生ごみ処理機（30kg/日）</li> </ul>	209
3. 再生資源回収推進 事業	16,573	<p>自治会、PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対して回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。</p> <p>再生資源回収事業奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録団体数 146団体</li> <li>・交付団体数 121団体</li> <li>・交付金額 16,573千円</li> <li>・回収量 2,755t （内訳）紙類2,666t、布類35t、缶類54t、びん12,581本 1kg当たり6円の奨励金 びんについては、1本当たり3円</li> </ul>	209
4. ごみ減量化容器設 置補助金	4,392	<p>生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交付申請件数 174件</li> <li>補助金交付基数 182基</li> <li>交付金額 4,392千円</li> <li>補助率 購入額の1/2、30千円を限度</li> </ul>	209

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 資源回収ステーション推進事業	6,844	<p>資源物の分別回収の充実に伴い、家庭から生じた資源物の保管困難な状況を解消し、ごみの減量・資源化を更に推進するために、東豊浜、鹿海町及び大湊資源回収ステーションを建設した。また、地元自治会による地域集団回収モデル事業として管理運営及び一部資源物の自主売払いなど、管理運営形態の新しい取り組みを東豊浜町と鹿海町で開始した。</p> <p>開設場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東豊浜資源回収ステーション (東豊浜町1475【高羽江社西側】)</li> <li>・鹿海町資源回収ステーション (鹿海町238-1【鹿海町公園北側】)</li> <li>・大湊資源回収ステーション(開設はH19年度大湊地区コミュニティセンターと同時開設予定) (大湊町98-5【大湊地区コミュニティセンター敷地内】)</li> </ul> <p>搬入可能物</p> <p>資源びん、新聞、雑誌類、段ボール、紙パック、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、乾電池及び蛍光灯</p> <p>搬入日</p> <p>【一般分】水曜日、土曜日、日曜日及び祝日 (年末年始は除く)</p> <p>【支所分】月曜日～金曜日、日曜日 (年末年始は除く)</p> <p>【いせトピア】月曜日～日曜日 (毎月第1、3、5月曜日及び年末年始は除く)</p> <p>【東豊浜】土曜日、日曜日及び祝日 (年末年始は除く)</p> <p>搬入時間</p> <p>午前9時00分～午後4時30分 (東豊浜は正午まで)</p>	209

(款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 3 . じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 916,343 千円  
決算額 909,427 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,941	900,486

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	21,427	<p>ごみの減量・資源化のため、資源びん(無色、茶色、その他の色)、紙類(新聞・雑誌類・段ボール・紙パック)、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。</p> <p>ステーション設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収ステーション 約1,000箇所</li> <li>・資源拠点回収ステーション 10箇所</li> </ul> <p>(内訳)伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、北浜、宮本、沼木、いせトピア</p>	209

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 清掃事業所改修事業	4,096	<p>清掃事業所は、伊勢広域環境組合が昭和50年に建設し、現在建設後30年が経過しており内装、空調、照明等が著しく老朽化している。安全衛生上支障があるため年次的に改修・修繕等を行っている。平成18年度については、空調機等の改修を行った。</p> <p>改修箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機 4箇所（2階事務所1・2、会議室1・2）</li> <li>・湯沸機 1箇所（1階詰所）</li> <li>・消火器 2箇所（車庫）</li> </ul>	209

### 資源循環課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 廃棄物投棄場管理 一般事業	6,697	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理を行った。</p> <p>年間搬入量 593,200kg</p>	209

### 二見総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	1,743	<p>ごみの減量・資源化のため、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙類（新聞・雑誌類・段ボール・紙バック・紙製容器包装）、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、アルミ缶、廃食用油、乾電池及び蛍光管の分別回収を行った。</p> <p>ステーション設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収ステーション 34箇所</li> </ul>	209
2. 廃棄物投棄場管理 一般事業	290	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理を行った。</p> <p>年間搬入量 8,850kg</p>	209

**小俣総合支所 生活環境課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	14,719	ごみの減量・資源化のため、飲料用アルミ・スチール缶、ビン類(3種類)、紙類(新聞・雑誌類・段ボール・紙パック)、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 資源物拠点集積所設置状況 60箇所	209
2. 廃棄物投棄場管理一般事業	16,564	新市合併後も小俣町の旧廃棄物投棄場内の投棄物の分別処理を行い将来にわたり清潔で快適な生活環境づくりと、この用地を有効利用をしていく必要があり、平成13年度から投棄されていた廃棄物を掘り起こし資源のリサイクル化を促進するため、トロンメルによるゴミ分別処理等を行った。 【平成18年度実績】 トロンメルによるゴミ分別処理 処理量 677.8 重機による投棄物粗選別前残土掘削 掘削量 2,907 年間搬入量 290,000kg	209

**御園総合支所 生活環境課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	8,260	ごみの減量・資源化のため、ビン類(3種類)、紙類(新聞・雑誌類・段ボール・紙パック)、布類、プラスチック製容器包装、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行い、ごみの減量・資源化を図った。 ステーション設置状況 ・町内回収ステーション 13箇所	209
2. 廃棄物投棄場管理一般事業	519	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類(ブロック、レンガ、瓦、コンクリート)の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理を行った。 年間搬入量 130,300kg	209